



中国古典文学大系 16

平凡社

漢・魏・六朝詩集

伊藤正文・一海知義 編訳

## 編訳者紹介

伊藤正文 大正14年大阪府生。京都大学文学部卒。  
現職 神戸大学教養部教授。専攻 中国文学。主訳書  
『曹植』(岩波書店「中国詩人選集」)『漢・魏・六朝・  
唐・宋散文選』(平凡社「中国古典文学大系」)

一海知義 昭和4年奈良市生。京都大学文学部卒。  
現職 神戸大学教養部教授。専攻 中国文学。主著訳

## 日本財団支援

# 笠川良一記念文庫

## 財団法人日本科学協会

中国古典文学大系 全60巻

漢・魏・六朝詩集

第16巻

昭和47年2月24日 初版第1刷発行  
昭和52年5月10日 初版第6刷発行

伊 藤 正 文  
編 訳 者 一 海 知 義

東京都千代田区四番町4番地  
下 中 邦 彦

郵便番号 102  
発行所 東京都千代田区  
四番町4番地 株式会社 平凡社  
振替・東京8-29639

不良本のお取換えは直接小社サービス課まで  
お送り下さい(送料は小社で負担します)。 印刷 東洋印刷株式会社  
定価は外箱に表示しております。 製本 株式会社 石津製本所

© 株式会社 平凡社 1972 Printed in Japan

一目次

漢

三

次

一海知義編訳

一〇	佳人の歌	李延年
一〇	五つのためいきの歌	梁鴻
一一	詠史の詩	班固
一二	四つの愁い	張衡
一三	一つの思い	七
一四	二つの思い	七
一五	三つの思い	七
一六	四つの思い	七
一七	旧友と絶交する歌	朱穆
一八	妻におくる	七
一九	夫に答えて	徐嘉
二〇	不正を憎む	趙壹
二一	無題詩	孔融
二二	羽林郎の歌	辛延年
二三	董嬌饒の歌	宋子侯
二四	異国に嫁いで	烏孫公主
二五	怨みの歌	班婕妤
二六	悲憤の詩	王昭君
二七	蔡琰	元

古詩十九首	蘆笛の歌	十八章	蔡琰
一 (行行重行行)	一	四	四
二 (青青河畔草)	二	四	四
三 (青青陵上柏)	三	四	四
四 (今日良宴會)	四	四	四
五 (西北有高樓)	五	四	四
六 (涉江采芙蓉)	六	四	四
七 (明月皎夜光)	七	四	四
八 (冉冉孤生竹)	八	四	四
九 (庭中有奇樹)	九	四	四
十 (迢迢牽牛星)	十	四	四
十一 (廻車駕言邇)	十一	四	四
十二 (東城高且長)	十二	四	四
十三 (驅車上東門)	十三	四	四
十四 (去者日以疎)	十四	四	四
十五 (生年不滿百)	十五	四	四
十六 (凜凜歲云暮)	十六	四	四
十七 (孟冬寒氣至)	十七	四	四
十八 (客從遠方來)	十八	四	四
十九 (明月何皎皎)	十九	四	四
離別された妻	离别された妻	四	四
老兵の歌	老兵の歌	四	四
つる草の歌	つる草の歌	四	四
元モ元モ	元モ元モ	四	四
山の田に	山の田に	四	四
河を渡るな	河を渡るな	四	四

三	江の南	歌
一	(蓮露)	歌
二	(蒿里)	歌
三	平陵の東	歌
四	羅敷の歌	歌
五	人のいのち	歌
六	良妻の歌	歌
七	毛毛西門を出て	歌
八	東門の歌	歌
九	病婦の歌	歌
十	みなしづの歌	歌
十一	行商人の歌	歌
十二	泣く子	歌
十三	共白髪まで	歌
十四	月の夜	歌
十五	悲しい歌	歌
十六	焦仲卿の妻の歌	歌
十七	秋の愁い	歌
十八	漢代のわらべ歌	歌
十九	わらべ歌	歌
二十	鯉の便り	歌
二十一	二桃	三士を殺す

魏

伊藤正文編訳

卷	去られた婦の歌	(曹丕)
一	宴會の席上で	
二	白馬の騎士	
三	花の都	
四	絶遠の地の民	
五	流転の歌	
六	にゅうない雀の歌	
七	公宴	
八	怨みの歌	
九	応氏を送る	
一	一	
二	雜詩	曹植
三	一	[曹植]
四	一	[曹植]
五	一	[曹植]
六	一	[曹植]
七	徐幹に贈る	
八	丁儀に贈る	

文詠懷四  
阮籍

- |               |       |
|---------------|-------|
| 二<br>（嘉樹下成蹊）  | 夜中不能寐 |
| 三<br>（平生少年時）  | 一     |
| 四<br>（昔聞東陵瓜）  | 二     |
| 五<br>（灼灼西隣日）  | 三     |
| 六<br>（步出上東門）  | 四     |
| 七<br>（湛湛長江水）  | 五     |
| 八<br>（開秋兆涼氣）  | 六     |
| 九<br>（昔年十四五）  | 七     |
| 十<br>（獨坐空堂上）  | 八     |
| 十一<br>（朝陽不再盛） | 九     |
| 十二<br>（一日復一夕） | 十     |

三國志圖

## 六

## 朝

## 晋

## 一 海知義編訳

100	妻の想い	張	華	五
101	一（北方有佳人）	傳	傳	七
102	二（游目四野外）	傳	傳	八
103	女の一生	傳	傳	九
104	女の仇討ち	傳	傳	一〇
105	長安の人	玄	玄	一一
106	車ははろばら	一	卦	一二
107	夏ノ客ヘノ戒メ	卦	卦	一三
108	酒盛りの歌	卦	卦	一四
109	班婕妤	卦	卦	一五
110	猛虎によせて	卦	卦	一六
111	従兄におくる	卦	卦	一七
112	洛陽への道中の作	卦	卦	一八
113	一	卦	卦	一九
114		卦	卦	二〇
115		卦	卦	二一
116		卦	卦	二二
117		卦	卦	二三
118		卦	卦	二四
119		卦	卦	二五
120		卦	卦	二六
121		卦	卦	二七
122		卦	卦	二八
123		卦	卦	二九
124		卦	卦	二一〇
125		卦	卦	二一〇
126		卦	卦	二一〇
127		卦	卦	二一〇
128		卦	卦	二一〇
129		卦	卦	二一〇
130		卦	卦	二一〇
131		卦	卦	二一〇
132		卦	卦	二一〇
133		卦	卦	二一〇
134		卦	卦	二一〇
135		卦	卦	二一〇
136		卦	卦	二一〇
137		卦	卦	二一〇
138		卦	卦	二一〇
139		卦	卦	二一〇
140		卦	卦	二一〇
141		卦	卦	二一〇
142		卦	卦	二一〇
143		卦	卦	二一〇
144		卦	卦	二一〇
145		卦	卦	二一〇
146		卦	卦	二一〇
147		卦	卦	二一〇
148		卦	卦	二一〇
149		卦	卦	二一〇
150		卦	卦	二一〇
151		卦	卦	二一〇
152		卦	卦	二一〇
153		卦	卦	二一〇
154		卦	卦	二一〇
155		卦	卦	二一〇
156		卦	卦	二一〇
157		卦	卦	二一〇
158		卦	卦	二一〇
159		卦	卦	二一〇
160		卦	卦	二一〇
161		卦	卦	二一〇
162		卦	卦	二一〇
163		卦	卦	二一〇
164		卦	卦	二一〇
165		卦	卦	二一〇
166		卦	卦	二一〇
167		卦	卦	二一〇
168		卦	卦	二一〇
169		卦	卦	二一〇
170		卦	卦	二一〇
171		卦	卦	二一〇
172		卦	卦	二一〇
173		卦	卦	二一〇
174		卦	卦	二一〇
175		卦	卦	二一〇
176		卦	卦	二一〇
177		卦	卦	二一〇
178		卦	卦	二一〇
179		卦	卦	二一〇
180		卦	卦	二一〇
181		卦	卦	二一〇
182		卦	卦	二一〇
183		卦	卦	二一〇
184		卦	卦	二一〇
185		卦	卦	二一〇
186		卦	卦	二一〇
187		卦	卦	二一〇
188		卦	卦	二一〇
189		卦	卦	二一〇
190		卦	卦	二一〇
191		卦	卦	二一〇
192		卦	卦	二一〇
193		卦	卦	二一〇
194		卦	卦	二一〇
195		卦	卦	二一〇
196		卦	卦	二一〇
197		卦	卦	二一〇
198		卦	卦	二一〇
199		卦	卦	二一〇
200		卦	卦	二一〇
201		卦	卦	二一〇
202		卦	卦	二一〇
203		卦	卦	二一〇
204		卦	卦	二一〇
205		卦	卦	二一〇
206		卦	卦	二一〇
207		卦	卦	二一〇
208		卦	卦	二一〇
209		卦	卦	二一〇
210		卦	卦	二一〇
211		卦	卦	二一〇
212		卦	卦	二一〇
213		卦	卦	二一〇
214		卦	卦	二一〇
215		卦	卦	二一〇
216		卦	卦	二一〇
217		卦	卦	二一〇
218		卦	卦	二一〇
219		卦	卦	二一〇
220		卦	卦	二一〇
221		卦	卦	二一〇
222		卦	卦	二一〇
223		卦	卦	二一〇
224		卦	卦	二一〇
225		卦	卦	二一〇
226		卦	卦	二一〇
227		卦	卦	二一〇
228		卦	卦	二一〇
229		卦	卦	二一〇
230		卦	卦	二一〇
231		卦	卦	二一〇
232		卦	卦	二一〇
233		卦	卦	二一〇
234		卦	卦	二一〇
235		卦	卦	二一〇
236		卦	卦	二一〇
237		卦	卦	二一〇
238		卦	卦	二一〇
239		卦	卦	二一〇
240		卦	卦	二一〇
241		卦	卦	二一〇
242		卦	卦	二一〇
243		卦	卦	二一〇
244		卦	卦	二一〇
245		卦	卦	二一〇
246		卦	卦	二一〇
247		卦	卦	二一〇
248		卦	卦	二一〇
249		卦	卦	二一〇
250		卦	卦	二一〇
251		卦	卦	二一〇
252		卦	卦	二一〇
253		卦	卦	二一〇
254		卦	卦	二一〇
255		卦	卦	二一〇
256		卦	卦	二一〇
257		卦	卦	二一〇
258		卦	卦	二一〇
259		卦	卦	二一〇
260		卦	卦	二一〇
261		卦	卦	二一〇
262		卦	卦	二一〇
263		卦	卦	二一〇
264		卦	卦	二一〇
265		卦	卦	二一〇
266		卦	卦	二一〇
267		卦	卦	二一〇
268		卦	卦	二一〇
269		卦	卦	二一〇
270		卦	卦	二一〇
271		卦	卦	二一〇
272		卦	卦	二一〇
273		卦	卦	二一〇
274		卦	卦	二一〇
275		卦	卦	二一〇
276		卦	卦	二一〇
277		卦	卦	二一〇
278		卦	卦	二一〇
279		卦	卦	二一〇
280		卦	卦	二一〇
281		卦	卦	二一〇
282		卦	卦	二一〇
283		卦	卦	二一〇
284		卦	卦	二一〇
285		卦	卦	二一〇
286		卦	卦	二一〇
287		卦	卦	二一〇
288		卦	卦	二一〇
289		卦	卦	二一〇
290		卦	卦	二一〇
291		卦	卦	二一〇
292		卦	卦	二一〇
293		卦	卦	二一〇
294		卦	卦	二一〇
295		卦	卦	二一〇
296		卦	卦	二一〇
297		卦	卦	二一〇
298		卦	卦	二一〇
299		卦	卦	二一〇
300		卦	卦	二一〇
301		卦	卦	二一〇
302		卦	卦	二一〇
303		卦	卦	二一〇
304		卦	卦	二一〇
305		卦	卦	二一〇
306		卦	卦	二一〇
307		卦	卦	二一〇
308		卦	卦	二一〇
309		卦	卦	二一〇
310		卦	卦	二一〇
311		卦	卦	二一〇
312		卦	卦	二一〇
313		卦	卦	二一〇
314		卦	卦	二一〇
315		卦	卦	二一〇
316		卦	卦	二一〇
317		卦	卦	二一〇
318		卦	卦	二一〇
319		卦	卦	二一〇
320		卦	卦	二一〇
321		卦	卦	二一〇
322		卦	卦	二一〇
323		卦	卦	二一〇
324		卦	卦	二一〇
325		卦	卦	二一〇
326		卦	卦	二一〇
327		卦	卦	二一〇
328		卦	卦	二一〇
329		卦	卦	二一〇
330		卦	卦	二一〇
331		卦	卦	二一〇
332		卦	卦	二一〇
333		卦	卦	二一〇
334		卦	卦	二一〇
335		卦	卦	二一〇
336		卦	卦	二一〇
337		卦	卦	二一〇
338		卦	卦	二一〇
339		卦	卦	二一〇
340		卦	卦	二一〇
341		卦	卦	二一〇
342		卦	卦	二一〇
343		卦	卦	二一〇
344		卦	卦	二一〇
345		卦	卦	二一〇
346		卦	卦	二一〇
347		卦	卦	二一〇
348		卦	卦	二一〇
349		卦	卦	二一〇
350		卦	卦	二一〇
351		卦	卦	二一〇
352		卦	卦	二一〇
353		卦	卦	二一〇
354		卦	卦	二一〇
355		卦	卦	二一〇
356		卦	卦	二一〇
357		卦	卦	二一〇
358		卦	卦	二一〇
359		卦	卦	二一〇
360		卦	卦	二一〇
361		卦	卦	二一〇
362		卦	卦	二一〇
363		卦	卦	二一〇
364		卦	卦	二一〇
365		卦	卦	二一〇
366		卦	卦	二一〇
367		卦	卦	二一〇
368		卦	卦	二一〇
369		卦	卦	二一〇
370		卦	卦	二一〇
371		卦	卦	二一〇
372		卦	卦	二一〇
373		卦	卦	二一〇
374		卦	卦	二一〇
375		卦	卦	二一〇
376		卦	卦	二一〇
377		卦	卦	二一〇
378		卦	卦	二一〇
379		卦	卦	二一〇
380		卦	卦	二一〇
381		卦	卦	二一〇
382		卦	卦	二一〇
383		卦	卦	二一〇
384		卦	卦	二一〇
385		卦	卦	二一〇
386		卦	卦	二一〇
387		卦	卦	二一〇
388		卦	卦	二一〇
389		卦	卦	二一〇
390		卦	卦	二一〇
391		卦	卦	二一〇
392		卦	卦	二一〇
393		卦	卦	二一〇
394		卦	卦	二一〇
395		卦	卦	二一〇
396		卦	卦	二一〇
397		卦	卦	二一〇
398		卦	卦	二一〇
399		卦	卦	二一〇
400		卦	卦	二一〇
401		卦	卦	二一〇
402		卦	卦	二一〇
403		卦	卦	二一〇
404		卦	卦	二一〇
405		卦	卦	二一〇
406		卦	卦	二一〇
407		卦	卦	二一〇
408		卦	卦	二一〇
409		卦	卦	二一〇
410		卦	卦	二一〇
411		卦	卦	二一〇
412		卦	卦	二一〇
413		卦	卦	二一〇
414		卦	卦	二一〇
415		卦	卦	二一〇
416		卦	卦	二一〇
417		卦	卦	二一〇
418		卦	卦	二一〇
419		卦	卦	二一〇
420		卦	卦	二一〇
421		卦	卦	二一〇
422		卦</		

三	仙界に遊ぶ	郭 璞	三	四	(結廬在人境)	.....	三
	花の都は			五	(秋菊有佳色)	.....	三
	緑の谷は			六	(有客常同止)	.....	三
	日の車は			七	(故人賞我趣)	.....	三
	逸る翼をもつ鳥は			八	(少年罕人事)	.....	三
三	百姓のすすめ	陶淵明	三	禁酒ノ歌	陶淵明	三	五
三	姿ト影ト魂ノ対話	陶淵明	三	子ヲ叱ル	陶淵明	三	六
三	姿が影ニオクッタ	陶淵明	三	古詩になぞらえて	陶淵明	三	七
三	影ガ姿ニ答エタ	陶淵明	三	一 (日暮天無雲)	陶淵明	三	八
三	魂ノ判定	陶淵明	三	二 (少時壯且厲)	陶淵明	三	九
三	田園のすまいに帰る	陶淵明	三	三 (種桑長江邊)	陶淵明	三	十
一	.....	陶淵明	三	題	陶淵明	三	十一
一	.....	陶淵明	三	一 (人生無根蒂)	陶淵明	三	十二
三	.....	陶淵明	三	二 (白日淪西阿)	陶淵明	三	十三
四	.....	陶淵明	三	三 (丈夫志四海)	陶淵明	三	十四
五	乞食ノ歌	陶淵明	三	四 (昔聞長老言)	陶淵明	三	十五
三	鎮軍將軍の參謀として	陶淵明	三	五 (代耕本非望)	陶淵明	三	十六
二	曲阿を通ったときの作	陶淵明	三	貧士の歌	陶淵明	三	十七
二	休暇をおえて江陵に帰るみか、	陶淵明	三	山海經を読む	陶淵明	三	十八
	夜、塗口を通る	三青鳥	三	プロローグ		三	十九
二	新春、田舎家で古人を偲ぶ	陶淵明	三			三	二十
二	酒を飲みつい	陶淵明	三			三	二十一
一	(衰榮無定在)	精衛	三			三	二十二
一	(道喪向千載)		三			三	二十三
三	(栖栖失羣鳥)		三			三	二十四
			三			三	二十五
			三			三	二十六
			三			三	二十七
			三			三	二十八
			三			三	二十九
			三			三	三十

宋

西池に遊ぶ	謝 混	二三七
貪欲の泉	吳 隱之	二三八
隠遁に反対する	王 康璠	二三九
驪山の勇士の歌		二四〇
西晋地図		
阮籍	顏延之	二四一
嵇康	顏延之	二四二
方山の別れ	謝靈運	二四三
始寧の別荘	謝靈運	二四四
七里灘	謝靈運	二四五
池辺の樓に登る	謝靈運	二五〇
南亭にて	謝靈運	二五一
孤嶼山	謝靈運	二五二
昆明湖中にて	謝靈運	二五三
石門に宿る	謝靈運	二五四
牽牛と織女	謝惠連	二五五

伊藤正文編訳

## 齐

伊藤正文編訳

一六 有所思	一九 玉階怨	二〇 帰らぬ殿御	二一 東田にて	二二 荆州の同僚に贈る	二三 新亭で范雲に別れる	二四 江上にて	二五 夕暮れに三山に登る	二六 落日	二七 西洲曲	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	三一〇	三一一
一七	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	三一〇	三一一
一九	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	三一〇	三一一
一九	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	三一〇	三一一

伊藤正文編訳

一六 河の水	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	三一〇	三一一
一九	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	三一〇	三一一
一九	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	三一〇	三一一
一九	一九	二〇	二一	二二	二三	二四	二五	二六	二七	二八	二九	三〇	三一	三二	三三	三四	三五	三六	三七	三八	三九	三一〇	三一一

## 陳

伊藤正文 編訳

## 北朝・隋

一海知義 編訳

104	王樹後庭花	陳叔宝	陰	劉昶
105	劉君の送別に遅れて		陰	
106	傅君は湘州に帰る		陰	
107	青草湖		陰	
108	開善寺		陰	蕭慤
109	夜五洲をたつ		陰	
110	閑山月	徐陵	陰	顏之推
111	毛喜に別れる	徐陵	陰	斛律金
112	裴尚書に寄せる	江總	陰	裴徽
113	故里の家に帰る	江總	陰	江總
114	閨怨	江總	陰	江總
115	南北朝地図		陰	江總
116	総括		陰	江總
117	北朝		陰	江總
118	隋		陰	江總
119	詠懷詩	庾信	句	劉昶
120	一 (疇昔國士遇)	庾信	句	劉昶
121	二 (檢斷音信)	庾信	句	劉昶
122	三 (搖落秋爲氣)	庾信	句	劉昶
123	友人徐陵に	庾信	句	劉昶
124	王琳に	庾信	句	劉昶
125	北国の歌	庾信	句	劉昶
126	一 (男兒欲作健)	楊帝	句	劉昶
127	二 (男兒可憐蟲)	薛道衡	句	劉昶
128	從軍の將兵に示す	薛道衡	句	劉昶
129	孤獨を守る	薛道衡	句	劉昶
130	正月七日	薛道衡	句	劉昶
131	舟曳き歌	薛道衡	句	劉昶

付 口 語	詩	王 梵 志	二四
一 (梵志翻著機)			
二 (城外土饅頭)			二五
三 (吾有十畝田)			二六
四 (我見那漢死)			二七
五 (草屋足風塵)			二八
原 詩			
原 詩			二九
詩人小伝			
解 說			
年 表	卷末一		

漢かん

魏ぎ

六朝りくちょう

詩集

一ら 伊い

海か 藤とう

知とも 正まさ

義よ 文ぶ

編訳



漢

一  
海  
知  
義  
編  
訳

